

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 6日

茨城県知事

殿

提出者

住 所 茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号

氏 名 日立グローバルライフソリューションズ株式会社  
ホームソリューション事業部  
生活家電本部長 鈴木 竜路

電話番号 0294-34-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

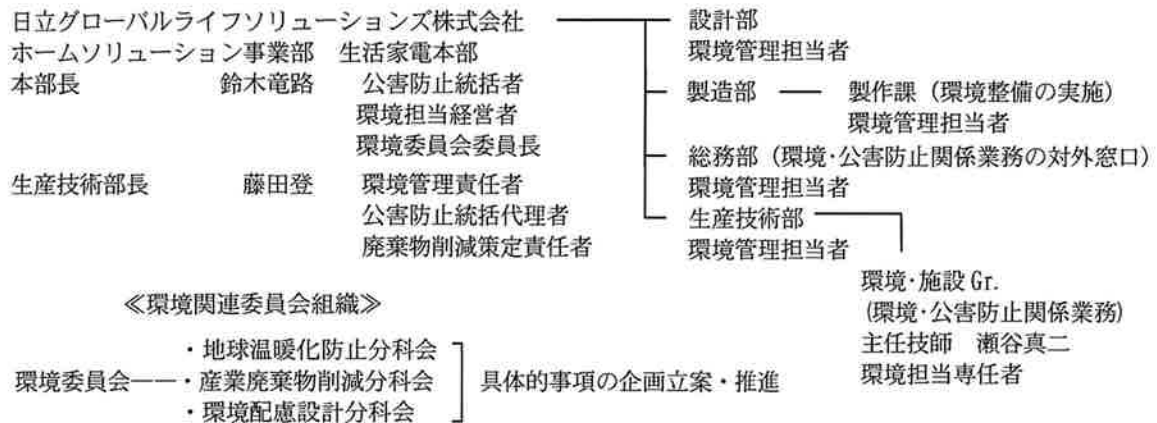
事業場の名称	日立グローバルライフソリューションズ株式会社 ホームソリューション事業部 生活家電本部
事業場の所在地	茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号
計画期間	令和6年4月から令和7年3月まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	民生用電気機械器具製造業
② 事業の規模	年間出荷額 147,250,000 千円
③ 従業員数	2,276 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り



(日本工業規格A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙2の通り

① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排      出      量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排      出      量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：別紙3の通り 分別に関する取組：イントラネットによる従業員への周知 廃棄物置場巡視による指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：現状維持 分別に関する取組：廃棄物置場の巡視及び指導の継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				該当なし			
① 現状	【前年度（                      年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t		t			
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t		t			
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						該当なし	
① 現状	【前年度（                      年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t		t		t	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t		t		t	
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t		t		t	
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t		t		t	
	(今後実施する予定の取組)						

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 該当なし

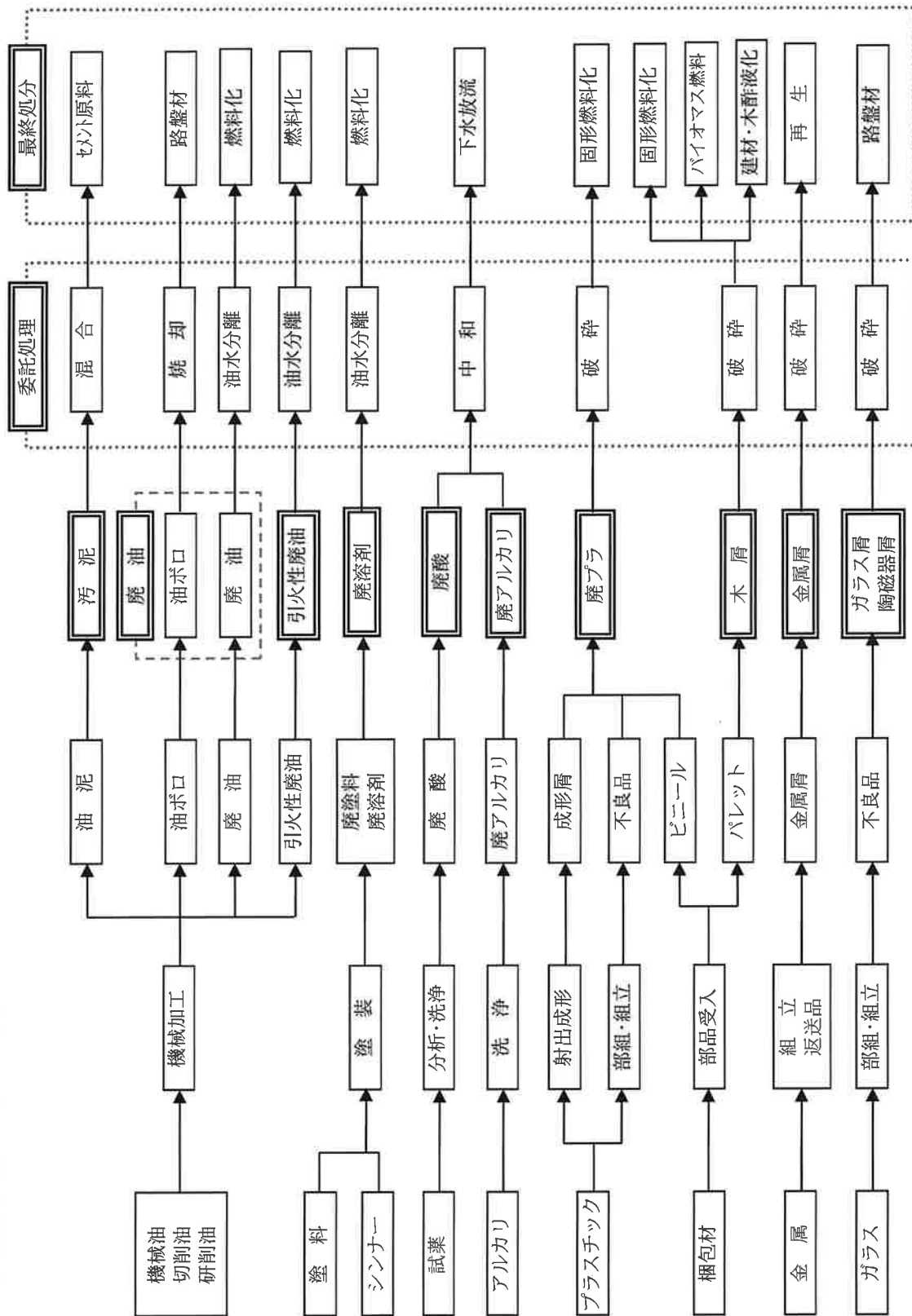
① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙4の通り

① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙 1 当該事業場において現に行なっている事業に関する事項  
④産業廃棄物の一連の処理工程



## 別紙2 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

### 現状【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	排出量	これまでに実施した取組
汚泥	68.8t	
廃油	99.2t	老朽設備の更新
廃プラ	741.7t	分別→利材品化推進
木屑	765.5t	廃パレットの利材品化推進
金属屑	1,047.7t	製造不良低減活動推進 分別→利材品化推進
ガラス及び陶磁器屑	26.1t	LED照明への切替え 分別→利材品化推進

### 計画【目標】

産業廃棄物の種類	排出量	今後実施する予定の取組
汚泥	60t	
廃油	100t	優良認定業者開拓
廃プラ	740t	分別→利材品化推進
木屑	500t	廃パレットの利材品化推進 パレットの木製→プラ製化推進
金属屑	1,000t	製造不良低減活動推進 分別→利材品化推進
ガラス及び陶磁器屑	25t	LED照明への切替えを継続

## 別紙 3 産業廃棄物の分別に関する事項 ①現状

[illegible]

農薬・資材・肥料(利材品)別表 (2/3)						
大分類	小分類	商標・商品名	別名・通称・別称	主要成分・注意事項	使用目的	
プラスチック 樹脂系	31	プラスチック	合成樹脂 ① 2.1.1 材料の性質が異なるものにより区別される。	プラスチック	中身の液体を容器に収めること。	包装・貯蔵
	32		有機物を含むものの	・ 付着剤の塗布	塗布の付着と乾燥を同時に進行させること。	塗布・乾燥
	33	プラスチックフィルム	① 1.1 材料の厚さが0.1mm以下のものである。	プラスチックフィルム	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵
	34	ポリエチレン、ポリプロピレン	高密度ポリエチレン、低密度ポリエチレン、ポリプロピレン	ポリエチレン、ポリプロピレン	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵
	35	硬質塩化ビニル	① 1.1 全量硬化後は硬質塩化ビニルである。			
	36	ポリウレタン、ゴム、樹脂系、PVC系、シリコン	シリコン樹脂	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵	包装・貯蔵
	37	少量のシリコン樹脂、シリコン、樹脂系、PVC系、シリコン	シリコン樹脂	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵	包装・貯蔵
	38	塩化ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵	包装・貯蔵
	39	塩化ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵	包装・貯蔵
	40	塩化ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂、塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	液体を包み込むこと。	包装・貯蔵	包装・貯蔵

廃棄物・有価物(利材品)分別表 (3/3)					
大分類	No.	商標・品名・用途	材質・成分・状態	資源物・資源品	処理方法
金属	31	金貨(角貨類)	金・銀・銅、合金等、形状が固定できる金属 (1) 金貨、銀貨、銅貨、角貨 (2) 金貨、銀貨、銅貨、角貨	金・銀・銅の金貨	金貨・銀貨・銅貨は分別して、資源物に分別すること。
	34	鉄片(鉄屑類)	鉄片(鉄屑)の屑である金属	鉄屑・鉄屑類	鉄屑・鉄屑類は分別して、資源物に分別すること。
	35	金一歩類、ニッケル	金・銀・銅の屑である金属	金一歩類	金・銀・銅の屑は分別して、資源物に分別すること。
	36	電池	1.1.1 フレッシュ電池は有害	電池類	電池類は分別して、資源物に分別すること。
	37	ハンダ類	ハンダ類	ハンダ類	ハンダ類は分別して、資源物に分別すること。
	38	金貨類(一歩類、スプレー用)	金・銀・銅の屑である金属	金貨類	金・銀・銅の屑は分別して、資源物に分別すること。
ガラス、陶器類	39	コインケース	コインケース	コインケース	コインケースは分別して、資源物に分別すること。
	40	磁器、陶器類	磁器、陶器類	磁器、陶器類	磁器、陶器類は分別して、資源物に分別すること。
	41	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類は分別して、資源物に分別すること。
	42	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類は分別して、資源物に分別すること。
	43	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類は分別して、資源物に分別すること。
	44	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類	ガラス、陶器類は分別して、資源物に分別すること。
プラスチック類	45	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチックは分別して、資源物に分別すること。
	46	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチックは分別して、資源物に分別すること。
	47	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチックは分別して、資源物に分別すること。
	48	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチックは分別して、資源物に分別すること。
	49	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチックは分別して、資源物に分別すること。
	50	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチックは分別して、資源物に分別すること。
紙類	51	紙類	紙類	紙類	紙類は分別して、資源物に分別すること。
	52	紙類	紙類	紙類	紙類は分別して、資源物に分別すること。
	53	紙類	紙類	紙類	紙類は分別して、資源物に分別すること。
	54	紙類	紙類	紙類	紙類は分別して、資源物に分別すること。
	55	紙類	紙類	紙類	紙類は分別して、資源物に分別すること。
	56	紙類	紙類	紙類	紙類は分別して、資源物に分別すること。
電気、バッテリー	57	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリーは分別して、資源物に分別すること。
	58	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリーは分別して、資源物に分別すること。
	59	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリーは分別して、資源物に分別すること。
	60	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリーは分別して、資源物に分別すること。
	61	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリーは分別して、資源物に分別すること。
	62	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリー	電気、バッテリーは分別して、資源物に分別すること。
その他	63	その他	その他	その他	その他は分別して、資源物に分別すること。
	64	その他	その他	その他	その他は分別して、資源物に分別すること。
	65	その他	その他	その他	その他は分別して、資源物に分別すること。
	66	その他	その他	その他	その他は分別して、資源物に分別すること。
	67	その他	その他	その他	その他は分別して、資源物に分別すること。
	68	その他	その他	その他	その他は分別して、資源物に分別すること。



別紙４ 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス及び陶磁器屑
全処理委託量	68.8t	99.2t	741.7t	765.5t	1,047.7t	26.1t
優良認定業者への処理委託量	52.6t	43.4t	646.9t	5.1t	214.0t	0t
再生利用業者への処理委託量	68.8t	99.2t	741.7t	765.5t	1,047.7t	26.1t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

これまでに実施した取組：優良認定業者及び再生利用業者の開拓

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス及び陶磁器屑
全処理委託量	60t	100t	740t	500t	1,000t	25t
優良認定業者への処理委託量	50t	50t	640t	20t	200t	20t
再生利用業者への処理委託量	60t	100t	740t	500t	1,000t	25t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t

今後実施する予定の取組：優良認定業者及び再生利用業者の開拓

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

と。

- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。